

## 18 歯科衛生士学生の歯科衛生診断に必要な口腔内観察力の実態

土田茉奈, 平澤明美<sup>1</sup>

明倫短期大学 歯科衛生士学科口腔保健衛生学専攻, <sup>1</sup>歯科衛生士学科

keywords : 歯科衛生診断, 口腔内観察, 歯科衛生過程

### はじめに

歯科衛生過程において, 歯科衛生士が行う歯科衛生診断は歯科医師が行う診断を含めないもので, あくまで歯科衛生士が介入して問題を解決するための診断である。歯科衛生士は多くの場合, 歯科医師よりも長い時間患者とコミュニケーションをとり, 口腔内を観察, 処置している。患者の問題点に焦点をあて, 予測できる疾患やどのような症状が起こるかにより適切な計画を立案する必要がある。

### 対象および方法

対象: 臨地・臨床実習中の学生歯科衛生士学科3年生71名。方法: モニター画面に問1~9までの問題を1分間示し, その後1分間で該当病名と難易度, 臨床での観察経験の有無について記入または選択させた。その後, 解答し結果を分析した。

### 結果および考察

各問の正解率の低い問題は, 口腔粘膜の病変, 口腔の腫瘍, ウイルス性疾患となった(図1)。各問の難易度で難しいと答えた者が多かったのは, 口腔粘膜の病変, ウイルス性疾患, 口腔の腫瘍, 歯肉の着色の問題となった(図2)。臨床での観察経験が無いと答えた者が多かったのは, ウイルス性疾患, 口腔粘膜の病変, 口腔の腫瘍, 舌下面の病変の問題であった(図3)。正解者と難易度で難しいと答えた者の間には強い負の相関が認められた( $p < 0.01$ )。正解者と臨床での観察経験の無い者の間には強い負の相関が認められた( $p < 0.01$ )。臨床での観察経験の無い者と難易度で難しいと答えた者の間には正の相関が認められた( $p < 0.05$ )。

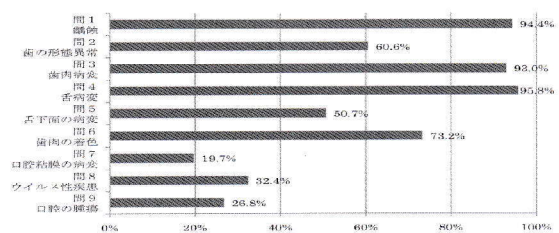


図1 各問の正解率

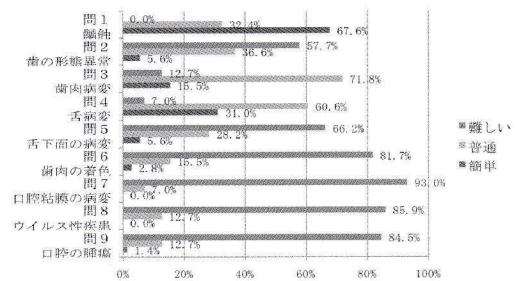


図2 各問の難易度

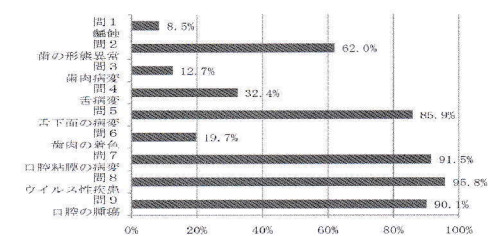


図3 各問の臨床での観察経験無し

### まとめ

臨地・臨床実習において実際の患者の口腔内を学生自身が観察し, 見る機会が少ないものは正解率が低く, 難易度も高かった。臨床での観察経験の少ないものは教育の現場や臨床の現場で観察の機会を増やし, 患者からの情報を聴取する力, 口腔を観察する力を養っていく必要がある。